

ノーマライゼーションとユニットケア

ユニットケア第一人者が語るこれからのユニットケア
「けま喜楽苑」の実践、厚労省と外山先生※と共に

特別講演につき

とき

5/17(月)

14:00~16:30

オンライン開催

(Zoomミーティング)

参加無料

お申込みはWebで

推進協



suishinkyo.net

講師 市川禮子氏

(社会福祉法人きらくえん名誉理事長)



1983年にきらくえんに入職。
兵庫県尼崎市、芦屋市、朝来市において特別養護老人ホームを中心にケアハウスやグループホーム、デイサービスやヘルパーステーション等の在宅サービスを多岐にわたり運営してきた。2003年には「朝日社会福祉賞」を受賞するなど、徹底して“利用者本位”の実践を続けている。

(推薦文) 厚労省 初代老健局長 堤 修三

人間の本质に根差した個室ユニットケア

特養ホーム等の個室化は、2003年、外山義先生の実証的研究と市川さんらの先駆的実践によって突破口が開かれた。私は、山崎史郎君(現リトアニア大使)の進言を容れてその導入に踏み切り、同年8月の個室ユニットケア推進大会で「人は個であって孤ではない。個室ユニットケアは正しい人間観に基づく」と述べた。この間の経験に基づく市川さんのお話は、要介護者の尊厳を守ろうとするすべての人々にとって必聴である。

※外山義(とやまただし)…研究者、建築家。特養において四つのゾーニングを提唱し、現在の個室ユニット型施設を形作ったユニット型施設研究の先駆者。京都大学教授時代の2002年、52歳で急逝。

■お問い合わせ 一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

Tel: 045-921-0462 E-mail: info@suishinkyo.net(代表)